

製品名: DNMT3B マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81536**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	95.8kDa

抗原情報

遺伝子名	DNMT3B
別名	ICF; ICF1; M.HsaIIIB
遺伝子 ID	1789.0
SwissProt ID	Q9UBC3
免疫原	大腸菌で発現したヒト DNMT3B (AA: 1-150) の精製された組み換え断片。

背景

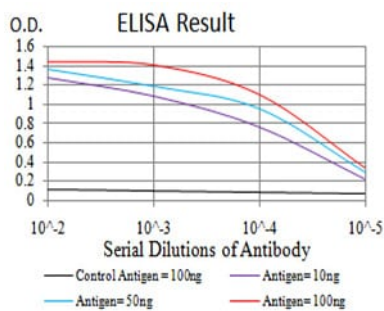
CpG メチル化は、胚発生、インプリンティング、および X 染色体不活性化に重要なエピジェネティック修飾です。マウスを用いた研究では、DNA メチル化が哺乳類の発生に必須であることが実証されています。この遺伝子は DNA メチルトランスフェラーゼをコー

ドしており、これは維持メチル化ではなく、de novo メチル化に機能すると考えられています。このタンパク質は主に核に局在し、その発現は発生段階に応じて制御されます。この遺伝子の変異は、免疫不全・セントロメア不安定性・顔面異常 (ICF) 症候群を引き起こします。選択的スプライシングによって生じる 8 つの転写バリエーションが報告されています。バリエーション 4 および 5 の全長配列は未だ決定されていません。

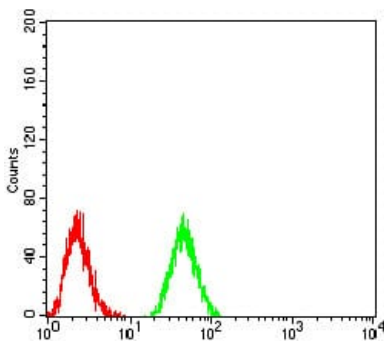
研究分野

-

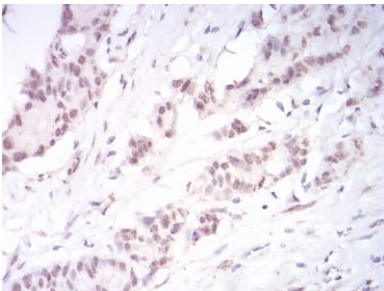
画像データ



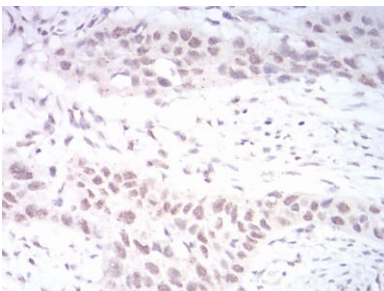
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



DNMT3B マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した K562 細胞のフローサイトメトリー分析。



DNMT3B マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学分析。



DNMT3B マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト食道癌組織の免疫組織化学分析。

